

平成26年度 事業報告

I 総括

平成26年度は、中東やアフリカにおける「イスラム国」のテロの活動や、西アフリカに端を発したエボラ出血熱のパンデミック、日本におけるデング熱の発生など、国境を越えた世界的に広がる大きなうねりが生じた年でした。

日本経済は、円安により輸出が増加したのに加え、輸入価格上昇の悪影響を原油安が相殺し、貿易赤字は大幅に縮小しました。これまでのリストラなどの収益体質強化に加え、こういった円安の追い風を受け、企業収益は回復基調が持続し、自動車や電機産業の大幅なベースアップにつながるといった状況でした。しかし中小企業のベースアップには必ずしもつながらず、非正規労働者の賃金とともに楽観できない状況が続いています。

物価は、円安の悪影響を受けたものの、消費増税後の反動減の悪影響が一巡しつつあり、10月に予定されていた消費税率10%への引き上げ延期となった事と相俟って景気は底堅く推移した年となりました。日本銀行の生活意識のアンケートでも「生活にゆとりがない」という回答が多く、今後どのように賃金に反映させていくのかが注視される状況です。

一方、平成26年は観測史上、地球の温度が最も暑い夏であったと共に、日本の温室効果ガス排出量が過去最大になった年となりました。欧州の主要国が京都議定書の基準年に比べ25%程の削減を実現したのに比べ、東日本大震災の影響を受けた日本は10.6%の増加という残念な結果となりました。また、温暖化の影響とも考えられる集中豪雨が広島を襲い、大規模な土砂崩れも発生しました。

都政では、オリンピック・パラリンピックの準備が本格化し、各面で下水道事業にも連携が求められるようになっていきます。また、「世界一の都市東京」の実現を目指す多様な取り組みとして、中央環状線の全線開通や、環境局に省エネルギーで環境に優しい燃料電池自働車の導入が行われる等の先進的な話題もありました。

一方、都下水道局は、昨年、下水道事業におけるエネルギー基本計画「スマートプラン2014」を公表すると共に「設備再構築基本計画」を策定し、設備技術に関する2つのプランを打ち出しました。それらも踏まえ、「経営計画2013」を着実に実施しています。加えて、平成27年度に策定予定の「経営計画2016」の内容の検討を開始しています。

平成26年度に設立30周年を迎えた当協会は、記念事業として協会活動に功績・功労のあった方々の表彰、一般公開の記念講演会を実施すると共に、高度な技術で下水道事業に貢献すべく機械及び電気設備の専門的な実習教材を下水道局技術実習センターに寄贈しました。また、この教材を活用した専門的な実習テキスト作成作業を受託することが出来ました。

また、局事業への広範な貢献として、「経営計画2013」の実施や「経営計画2016」の検討に迅速かつ的確に対応すべく、各種の技術検討や技術資料の取り纏めを行いました。例えば、大震災時においても確保されていなければならない最も重要な汚水・雨水の揚水機能、それに付随する受配電機能の耐震性能の調査等です。これについては、更に詳細な検討と意見交換を引き続き予定しています。

例年行っている要望活動においては、まだ残されている課題について詳細なアンケートを実施し、意見交換・要望を行う深化に取り組みました。これは平成27年度に更に掘り下げていくテーマとなります。

下水道事業の安全管理や関連技術の広報普及を目的とした公開講演会も内容を工夫し、局下水道技術実習センターを活用した安全管理の実体験研修参加も加える等、公益目的の事業の一つとして活性化を図りました。

広報分野においても、下水道事業並びに当協会のプレゼンスを高めるために、一般新聞の首都圏版に当協会会長と下水道局長の対談形式の記事を全面広告として掲載し、関係者から評価をいただきました。今後は下水道展の展示や、「広報戦略検討プロジェクト」を立ち上げた局広報セクションとの連携と併せ、協会の発信能力向上に工夫を重ねていきます。

以上の、具体的な実績・内容等につきましてはⅡの事業実績に於いて報告します。

Ⅱ 事業実績

平成26年度における事業は、定款第4条（事業）に記載の事業に基づいて実施しました。

1 下水道設備に関する設備技術の向上・改善及び維持管理に関する調査・研究

(1) 技術の調査研究

1) 新技術の視察

- ① 日時 平成26年11月18日
- ② 場所 神之池バイオエネルギー(株)バイオマスエネルギー発電所、新日鉄住金(株)鹿島製鉄所
- ③ 参加者 会員24名
- ④ 内容 神之池バイオエネルギー(株)バイオマスエネルギー発電所は、輸入木材を製材して木板や集成材を製造しており、その過程で発生した木材樹皮やオガクズ等を燃料としている国内最大級のバイオマス専焼発電所で、発電電力は当該工場等で使用するほか東京電力に売電しており、創エネルギーについて具体的な知見を得る事が出来ました。

続いて視察した新日鉄住金(株)鹿島製鉄所は、世界最大級の高炉を保有し、高炉、転炉、連続鋳造、熱間圧延、冷間圧延等の工程から厚板・薄板鋼板や形鋼、鋼管等が製造されている様は、鉄材料を多用する下水処理プラント機器の関係者としては大いに参考になりました。また、冷却水からの廃熱を利用するカーリーナサイクルのバイナリ発電も有るとの事で、創・省エネルギーの工夫として貴重な参考となる内容でした。

2) 東京都下水道局公開研修「下水道新技術」に参加

- ① 日時 平成27年1月27日
- ② 場所 豊島区立豊島公会堂

- ③ 参加者 会員31名、他に共同研究者として会員3名程度
- ④ 内 容 下水道関連の最新技術を習得することを研修の目的として開催され、対象者は下水道局職員・他局技術系職員・関係団体技術系職員・近隣縣市技術系職員・共同研究者となっています。
特別講演として電気通信大学大学院教授新誠一氏による「重要インフラのサイバーセキュリティ対策の最新動向」が行われ、その後6件の技術発表が下水道局職員からありました。

(2) 東京都の技術開発に対する支援

都下水道局との共同研究については、公募型共同研究、ノウハウ+フィールド提供型共同研究、簡易提供型共同研究、開発技術の導入を前提とした共同研究などがあり、年間を通じて支援しています。会員はそれぞれの目的の下に共同研究などの技術を活かした事業化に取り組んでいます。

2 下水道設備に関する情報、資料の収集及びその普及啓発

(1) 説明会及び意見交換会

1) 下水道局事業説明会

年度当初に局幹部を講師として招き当該年度の事業概要と設備関連の事業動向等について説明して頂くもので、下記のように実施しました。

- ① 日 時 平成26年5月29日
- ② 場 所 明宝ビル キルビー学院会議室
- ③ テーマ 平成26年度下水道事業と今後の展望、平成26年度の区部下水道建設事業
- ④ 講 師 東京都下水道局計画調整部事業調整課長及び建設部設備設計課長
- ⑤ 参加者 会員44名

2) 下水道局設備再構築基本計画及びスマートプラン2014説明会

- ① 日 時 平成26年7月30日
- ② 場 所 新宿NSビル会議室
- ③ テーマ 設備再構築基本計画で示されている設備寿命に関する基本的な考え方及び設備協会企業との関わり方及びスマートプラン2014の内容
- ④ 講 師 東京都下水道局計画調整部カーボンマイナス推進担当課長及び基本計画主査
- ⑤ 参加者 会員61名

(2) 要望活動

1) 下水道設備工事に関する要望活動

- ① 日 時 平成26年8月27日
- ② 場 所 都庁新宿庁舎会議室及び流域下水道本部会議室
- ③ 要望先 東京都下水道局：下水道局長・技監及び本庁部課長
流域下水道本部：本部長・流域下水道本部部課長
- ④ 内 容 下水道設備工事に関する諸課題について会員からアンケート等に基づいて整理し、会長はじめ常任幹事・調査委員長及び事務局が出席

し、下記事項について文書で要望しました。

- ・工事に当たっては入札参加資格要件等も加味し、総合評価方式を弾力的に適用
- ・設備工事は先行工事の影響を受けるので工期設定の適切化
- ・先行工事の遅れに伴う人件費や機器の保管費等の費用の負担
- ・止むを得ず異種工事を含む工事は、実態に即した積算、専門技術者による施工管理体制の確保
- ・異種工種の追加変更は落札率を適用除外
- ・仕様併記の機械設備工事に対応した電気設備は確定した負荷で発注
- ・積極的に技術開発に取り組めるインセンティブの働く枠組みの推進

(3) 東京下水道関連団体交流会

東京都の下水道事業を支える東京都下水道サービス(株)、下水道メンテナンス協同組合、(一社)東京下水道設備協会間の連携を深め、異業種と交流することで幅の広い情報収集・交換を図ることを目的とし交流会の立ち上げを検討し、三者に加えてTGS連絡協議会の4団体による東京下水道関連団体交流会を発足させ、次の研修を実施しました。

1) 相互理解研修

- ① 日 時 平成26年9月18日(木)
- ② 場 所 下水道技術実習センター、砂町水再生センター、東部スラッジプラント
- ③ 目 的 東京の下水道事業全体の把握と三者の役割の理解促進
- ④ 参加者 71名(会員19名)
- ⑤ 内 容 三者の役割等に関する講義、砂町水再生センター及び東部スラッジプラント視察

2) 維持管理研修

- ① 日 時 平成26年10月30日(木)
- ② 場 所 東京都下水道サービス(株)本社会議室、下水道管渠工事現場及び旧三河島重要文化財施設
- ③ 目 的 維持管理技術の研鑽と下水道事業における共通認識の向上
- ④ 参加者 72名(会員18名)
- ⑤ 内 容 三者による維持管理技術の現状等の講義、下水道管渠工事現場及び旧三河島重要文化財施設視察

3) 海外視察研修

- ① 日 時 平成26年11月27日(木)～12月5日(金)
- ② 場 所 バルセロナの下水処理場、雨水貯留施設、土木工事現場、リヨンの下水処理場、パリの下水処理場、雨水貯留施設他
- ③ 目 的 海外における下水道事情調査
- ④ 参加者 21名(会員3名)

4) 海外視察研修報告会

- ① 日 時 平成27年2月10日(火)
- ② 場 所 東京都下水道サービス(株)本社会議室
- ③ 目 的 海外視察研修に関する情報の共有化

④参加者 57名（会員7名）

3 機関誌等の発行を通じて下水道事業の普及啓発

(1) 機関誌「下水道設備」の発行

当協会において実施した事業活動状況の報告及び会員間の交流の場として、レポート・随筆等の紹介、さらに東京都の下水道事業動向などを掲載し、年間を通じて新年・春季・秋季に発行しました。30周年記念事業と連携し増刊号を発行したため、発行月が例年と異なります。

① 発行時期 1月、増刊、7月、10月の年間4回の発行

② 発行部数 各回毎に850部を発行

③ 配布 無料配布で、会員及び関係機関等を対象

(2) 機関誌「下水道設備」の内容をホームページに掲載

協会ホームページに「下水道設備」の目次、「下水道設備の流れ」「下水道設備の新しい流れ」（30周年記念事業の項参照）の全文を掲載し、下水道技術の普及啓発を行いました。

4 講演会及び講習会の開催

(1) 公開講演会

今年度で9回目を迎えた講演会は、協会設立30周年記念事業の一環（共益事業）として実施しました。詳細は、当該項を参照の事。

(2) 公開安全管理講習会の開催

① 日時 平成26年11月6日

② 場所 東京都下水道局下水道技術実習センター

③ 項目

ア 講習会

・講師 (独法) 労働安全衛生総合研究所 深谷 潔 氏

・参加者 42名(会員)、47名(下水道局職員)、38名(TGS社員)、計127名

・内容 「墜落災害防止のためのリスクアセスメントー安全帯を正しく活用するためにー」と題し、安全帯を着けていても落下時の衝撃は大きく、落下事故を起こさない工夫がまず求められること、事故が起きた場合、胴ベルト型よりもフルハーネス型の方が体に受ける衝撃が少ないこと、その場合でも血流が妨げられる等で身体への傷害を受けて命にも関わる、といった非常に参考になる内容でした。

イ 体験研修

・講師 TGS講師

・参加者 20名(会員)

・内容 高所作業現場モデルの研修では酸欠や有毒ガスの検知を行った後、安全帯を装着して梯子を降り、その後、胴ベルト型及びフルハーネス型の安全帯によって吊下げられる体験で、両者には身体への負荷

に大きな差があることを実感しました。管路内水中歩行の実習では、水位が高く水量が多い場合に危険であることを実感し、貴重な体験をする事が出来ました。

5 東京都の下水道事業に関する施策に対する協力

(1) 工事安全パトロールの実施

- ① 日 時 平成26年12月10日
- ② 場 所 葛西水再生センター
- ③ 対 象 沈砂池機械設備再構築工事：(株)クボタ
汚泥濃縮機械設備再構築その2工事：月島機械(株)
北系反応槽機械設備再構築工事：三機工業(株)
水処理電気設備再構築その4工事：(株)明電舎
- ④ 参加者 31名(会員28名、下水道局職員3名)
- ⑤ 内 容 公開安全管理講習会の成果も踏まえ、会員相互に工事現場を検証して安全管理能力向上を図ると共に、実際の工事現場で指摘された改善点は、後日改善し検証しました。最終的には報告書として整理し、都下水道局に提出するとともに全会員に配布しました。
なお、当協会員による重大(死亡)事故ゼロ日の達成記録は継続中であり、3月末現在で4,453日となりました。

(2) 災害時における水再生センター等の応急復旧業務に関する協定に基づく業務

1) 東京都下水道局の防災訓練に参加

- ① 日 時 平成26年9月9日
- ② 内 容 災害時の応急復旧訓練として、下水道局本庁部署との情報連絡訓練を実施しました。

2) 協定における出動体制・連絡体制の見直し

出動体制表を下水道局設備の主要設備ごとに対応したものとすると共に、連絡体制表を常時連絡がとれるものに見直し、両表を下水道局に提出しました。併せて各会員にも、関係する部分に整理した表を配布し共有化を図りました。

3) 東京都総務局業務用MCA無線機の配備と通信訓練の実施

- ① 日 時 平成26年4月18日、7月9日、12月4日、平成27年3月20日
- ② 内 容 大規模災害発生時における東京都下水道局と当協会間の通信手段確保のため、業務用MCA無線機が東京都総務局より配備されたので、これを用いた通信訓練を実施しました。

(3) 下水道局の実務研修への支援

- ① 日 時 平成26年9月29日～10月2日
- ② 目 的 当該研修は、水再生センターやポンプ所に設置されている設備の管理手法について、保全管理業務に従事する下水道局職員を計画的に育成する目的で下水道局が実施するもので、当協会の会員技術者が講師となって支援するものです。

- ③ 対 象 主ポンプ設備、高圧電動機設備に関する保全管理研修をしました。
今回の研修には保全管理業務に従事する下水道局設備技術系職員、東
京都下水道サービス（株）職員等が研修生として参加しました。

6 下水道事業に関する調査等の受託事業

- (1) 桜橋二ポンプ所ほか3か所電気設備再構築基礎調査
- ① 期 間 平成26年8月13日～平成27年2月27日
 - ② 内 容 桜橋二ポンプ所、篠崎ポンプ所、梅田ポンプ所、千住西ポンプ所
の電気設備現況を調査して再構築工事等に必要な資料を作成しまし
た。
- (2) 下水道設備設計標準化作業委託
- ① 期 間 平成26年8月13日～平成27年1月30日
 - ② 内 容 汚泥処理（汚泥焼却）設備及び受変電設備における設計の標準化を
図るための作業を行いました。
- (3) 設備実習テキストの作成作業
- ① 期 間 平成27年1月27日～平成27年3月18日
 - ② 内 容 協会設立30周年記念事で当協会より局に寄贈した汚泥ポンプの
カットモデル、シーケンスローダーを活用した専門的な実習テキスト
を作成しました。

7 共益事業

- (1) 賀詞交歓会
平成27年1月6日ロイヤルパークホテル本館において、（一社）日本下水道
施設業協会と合同で賀詞交歓会を開催しました。下水道事業を取り巻く環境は相
変わらず厳しいものがありますが、東京都・国土交通省等のご来賓のご挨拶を受
けながら会員が一堂に会し、新年の新たな取り組みなどについて意見交換等を行
いました。
- (2) 会員会報「設備協だより」の発行
会員へのお知らせ・報告等を適宜整理して毎月メールで送信しました。
- ① 発行時期 毎月1回（年間12回）の発行
 - ② 発行方法 各会員の正・副連絡者宛に毎月の下旬に送信
 - ③ 内 容 当協会における活動内容及び都庁関連情報等
- (3) 協会設立30周年記念事業
当協会が社団法人となってから30周年を迎え、第39回定時総会に併せ次の
記念事業を実施しました。
- 1) 協会活動に功績・功労のあった方々の表彰
功績賞6名、功労賞5名、永年勤続賞1名
 - 2) 記念公開講演会
今年度で9回目を迎えた講演会は、協会設立30周年記念事業の一環として実
施しました。昨年同様、当協会のホームページや環境関係の専門誌及び新宿区報
にお知らせを掲載し一般の参加者を募集したのに加えて、国交省下水道部のメー

リングリスト・ホットインフォメーション等にも案内を掲載し、多くの方に参加いただきました。

- ① 日 時 平成26年5月14日
- ② 場 所 京王プラザホテル
- ③ テーマ 「安全・安心な社会をめざして ―水とは何か― 」
- ④ 講 師 淑徳大学教授 北野 大 氏
- ⑤ 参加者 275名（会員147名、一般参加者128名）
- ⑥ 内 容 「安全・安心な社会とは、リスクを減らしそれに持ちこたえる社会、動的・国際的な対応ができる社会、安全に対する個人意識が醸成されている社会、信頼により安全を安心して繋げられる社会、安全・安心に対する施策の負の側面も合理的に判断できる社会と定義し、水についても多様な役割が期待される中で質的側面や、資源的な側面などにも十分留意した対応が必要とである。それを達成するには、組織・人を大事にする事が最も重要である。」という示唆に富む講演をいただきました。

3) 下水道局への実習教材寄贈

技術で下水道事業に貢献すべく、機械及び電気設備の専門的な実習教材としてポンプ設備の実習教材として汚泥ポンプのカットモデル、電気回路の実習教材としてシーケンスローダー設備を下水道技術実習センターに寄贈しました。

4) 「下水道設備の新しい流れ」発行、配布

最近10年間の下水道設備の技術の進展について取り纏めを行い、冊子として発行し、機関誌の記念号と併せて都下水道局をはじめとする関係機関に配布しました。加えて、協会ホームページに全文を掲載し、アーカイブ資料として公表しました。

(4) 公共設備技術士フォーラムとの共催

当協会は、技術士の団体である「公共設備技術士フォーラム」と共催して各種公共施設等の視察を春・秋に、また、講演会を年間2回実施しています。

1) 春季サイト研修会

- ① 日 時 平成26年5月12日
- ② 場 所 首都圏外郭放水路：埼玉県春日部市上金崎
- ③ 参加者 12名（会員）

2) 春季講演会

- ① 日 時 平成26年6月20日
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「理系を育てる皆さんの後継者は」
- ④ 講 師 東京都都市づくり公社下水道部長 青木 知絵 氏
- ⑤ 参加者 16名（会員）

3) 秋季サイト研修会

- ① 日 時 平成26年11月7日
- ② 場 所 横浜市水道局 川井浄水場
- ③ 参加者 10名（会員）

4) 秋季講演会

- ① 日 時 平成26年12月3日
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「利根川改変と江戸の開発」
- ④ 講 師 葛飾区郷土と天文の博物館学芸員 橋本 直子 氏
- ⑤ 参加者 16名(会員)

8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 協会ホームページの充実を図り、当協会の事業活動を広く公開しました。
- (2) 一般紙、専門紙・誌へ広告を掲載し、協会や会員のPRを積極的に行いました。
- (3) 下水道職員健康駅伝大会への参加
平成27年2月7日(土)、協会のPRや、会員の社員・職員の健康向上、関係者との親睦を目的とし、第29回下水道職員健康駅伝大会に参加しました。協会の名をプリントしたビブスや幟によって、統一感のあるプレゼンスを示す事が出来ました。

Ⅲ 会 議 等 の 開 催 状 況

1 理事会

- (1) 第1回理事会
第39回定時総会に伴い、平成26年5月14日に開催しました。
第1号議案：公益目的支出計画実施報告書及び監査報告の件
第2号議案：規程改定の件
第3号議案：会長、副会長、専務理事選定の件
以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同により、その結果を第39回定時総会に提案しました。
- (2) 第2回理事会
平成27年2月24日に開催しました。
第1号議案：平成26年度収支予算の変更の件
第2号議案：平成27年度事業計画及び収支予算の件
第3号議案：規程改定の件
第4号議案：正会員加入の件
以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同が得られました。

2 総 会

- (1) 第39回定時定時総会
平成26年5月14日に開催しました。片岡会長が議長となり、第1回理事会から提案された案件について審議し、原案のとおり議決・承認されました。

3 その他

(1) 常任幹事会及び委員会等

常任幹事会、7つの委員会及び3つの部会の活動日程とその概説については、下記の記録をご覧ください。

平成26年度 常任幹事会・各種委員会等記録

日付	委員会等	場所	概説
4月16日	電機部会	当協会会議室	情報システム再構築について
4月22日	拡大幹事会	〃	総会・理事会議案について
4月25日	調査委員会	〃	要望活動にむけたアンケートについて
4月25日	業務委員会・事業委員会合同	〃	総会・理事会について
5月26日	処理装置部会	〃	設計マニュアル（濃縮・脱水）改定について
5月27日	常任幹事会	〃	平成26年度局事業説明会他について
6月10日	常任幹事会	〃	協会事業内容の見直し他について
6月11日	電機部会	〃	標準仕様書改定版について
6月17日	事業委員会	〃	委員会事業の見直しについて
6月17日	業務委員会	〃	〃
6月19日	技術委員会	〃	〃
6月19日	安全管理委員会	〃	〃
6月20日	維持管理委員会	〃	〃
7月4日	広報委員会	〃	機関紙118号、委員会事業の見直しについて
7月11日	調査委員会	〃	東京都下水道局への要望事項関連について
7月16日	常任幹事会	〃	東京都下水道局への要望事項他について
7月18日	調査委員会	〃	東京都下水道局への要望事項関連について
8月8日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査について
8月18日	拡大幹事会	〃	東京都下水道局への要望活動他について
8月21日	電機部会	都庁会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
8月28日	技術委員会	当協会会議室	委員会事業の見直し、新技術調査について
8月29日	電機部会	〃	設計マニュアル（受変電設備）改定について
9月1日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（桜橋第二ポンプ所、梅田ポンプ所）について
9月2日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所、千住西ポンプ所）について
9月2日	安全管理委員会	当協会会議室	安全管理講習会、安全パトロールについて
9月3日	処理装置部会	〃	設計マニュアル（焼却設備）改定について
9月10日	常任幹事会	〃	安全管理講習会他について

9月11日	電機部会	東部第一下水道事務所会議室	電気設備再構築基礎調査（千住西ポンプ所）について
9月11日	電機部会	東部第二下水道事務所会議室	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
9月12日	電機部会	当協会会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
日付	委員会等	場所	概説
9月16日	電機部会	中部下水道事務所会議室	電気設備再構築基礎調査（桜橋第二ポンプ所）について
9月17日	電機部会	都庁会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
9月17日	処理装置部会	当協会会議室	設計マニュアル（焼却設備）改定について
9月18日	電機部会	東部第二下水道事務所会議室	電気設備再構築基礎調査（梅田ポンプ所）について
10月1日	処理装置部会	都庁会議室	設計マニュアル（焼却設備）改定について
10月2日	電機部会	〃	設計マニュアル（受変電設備）改定について
10月7日	常任幹事会	当協会会議室	工事安全パトロール他について
10月10日	電機部会	〃	設計マニュアル（受変電設備）改定について
10月15日	処理装置部会	〃	設計マニュアル（焼却設備）改定について
10月28日	電機部会	〃	設計マニュアル（受変電設備）改定について
11月4日	電機部会	都庁会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
11月10日	広報委員会	当協会会議室	機関紙119号、ホームページ他について
11月11日	処理装置部会	〃	設計マニュアル（焼却設備）改定について
11月11日	常任幹事会	〃	新技術調査他について
11月11日	電機部会	桜橋第二ポンプ所会議室	電気設備再構築基礎調査（桜橋第二ポンプ所）について
11月20日	電機部会	当協会会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
11月26日	電機部会	東部第一下水道事務所会議室	電気設備再構築基礎調査（千住西ポンプ所）について
11月27日	処理装置部会	都庁会議室	設計マニュアル（焼却設備）改定について
12月1日	委員長会	当協会会議室	委員会事業の見直しについて
12月9日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
12月9日	常任幹事会	当協会会議室	新春座談会他について
12月11日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（梅田ポンプ所）について
12月11日	処理装置部会	当協会会議室	設計マニュアル（焼却設備）改定について
12月15日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（千住西ポンプ所）について
12月19日	電機部会	都庁会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
12月25日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（桜橋第二ポンプ所）について
12月25日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
1月15日	電機部会	当協会会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について

1月20日	常任幹事会	〃	下水道職員健康駅伝大会他について
1月21日	技術委員会	〃	委員会事業の見直しについて
1月23日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
1月26日	電機部会	当協会会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
日付	委員会等	場所	概説
2月3日	電機部会	〃	実習テキスト作成作業について
2月5日	風水力部会	〃	実習テキスト作成作業について
2月5日	維持管理委員会	〃	委員会事業の見直しについて
2月9日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（梅田ポンプ所）について
2月9日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（千住西ポンプ所）について
2月16日	常任幹事会	当協会会議室	平成26年度第2回理事会議案について
2月18日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（梅田ポンプ所）について
2月18日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（桜橋第二ポンプ所）について
2月19日	広報委員会	当協会会議室	機関誌120号について
2月20日	風水力部会	〃	主ポンプ設備の耐震性能調査について
2月20日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
2月23日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（千住西ポンプ所）について
2月26日	処理装置部会	当協会会議室	沈砂池機械設備の耐震性能調査について
2月26日	電機部会	〃	受変電設備等の耐震性能調査について
2月27日	電機部会	〃	実習テキスト作成作業について
3月4日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（篠崎ポンプ所）について
3月5日	風水力部会	当協会会議室	実習テキスト作成作業について
3月9日	電機部会	都庁会議室	設計マニュアル（受変電設備）改定について
3月10日	常任幹事会	当協会会議室	委員会構成他について
3月17日	事業委員会	〃	平成27年度活動について
3月17日	技術委員会	〃	平成27年度活動について
3月24日	調査委員会	〃	平成27年度活動について
3月25日	維持管理委員会	〃	平成27年度活動について
3月27日	広報委員会	〃	下水道展他について

